

学んだ技術 パンに込めた

社会福祉法人 葛飾にカフェ

知的障害のある人の就労を支援する葛飾区の社会福祉法人「原町成年寮」が3月、区内にベーカリーカフェを開く。パンやコーヒーの名店から指導を受けたこだわりの品が並ぶ。「本格的な技術やサービスに整えることで一般企業でのスムーズな就労につなげたい」と意気込んでいる。

店は京成お花茶屋駅からム入りのパンやハード系の徒歩7分ほどの住宅街にあつた。パンを中心に種類は豊富で「Viser Polaire（ヴィゼ・ポレール）」（東堀）ペースでも食べられる。切1丁目。自家製クッキー。「障害のある人のパン



「Viser Polaire」。4月下旬のプレオープンには近所の住民が訪れた＝いずれも葛飾区東堀切1丁目

「障害者の店ではなく本格的な味に」

「屋を目指したい」と2年前から構想を練ってきた。法人が運営する就労支援事業所「クラフト」の所長、佐久間敦さん(45)はインターネットで人気のパン屋や実際に食べておいしかったパン屋に連絡し、技術指導を依頼した。

直接会ってもらえたのが5軒ほど。依頼に応じてくれたのが人気店「シニフィアン」シニフィエと喫茶店「堀口珈琲」（いずれも世田谷区）だった。法人の職員はパン教室で基礎を学び、「シニフィアン……」のシェフ志賀勝栄さんから

「法人の職員やパン職人が腕ふるい、「クラフト」を利用する軽度の知的障害の7人もレシピ打ちや接客係として働く。クラフト利用者も多くは一般企業への就労を目指しており、佐久間さんは「一般企業と変わらないサービスや技術を提供することで、社会的スキルを身につけ、ここから羽ばたいてほしい」と話す。



4月下旬のプレオープンでは接客などで改善点も見つけた。友人と店を訪れた近所の女性は「おしゃやれで入りやすい雰囲気。パンはさくさくとしていて、とってもおいしかった」と笑みを浮かべ、「サービスに手間取ることがあっても、ゆっくりに仕事に慣れていけばいいのよ」と話した。

店の営業は午前10時〜午後4時（火水限定休）。問い合わせはクラフト(03・38033・0598)。